

## [046] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10226>

---

出版情報：語文研究. 46, 1978-12-01. 九州大学国語国文学会  
バージョン：  
権利関係：



# 学会彙報

昭和五十三年度第一学期講義題目（昭和五十三年四月～十月）

## 国語学

- |    |                  |           |
|----|------------------|-----------|
| 特講 | 国語史と方言研究         | 奥村教授      |
| 演習 | 平曲譜本             | "         |
| "  | 国語学の諸問題          | "         |
| 特研 | 倒紋国語史            | "         |
| 講義 | あゆひ抄             | "         |
| 演習 | 万葉集              | 佐田教授      |
|    | (福岡女子大学)         | 鶴教授       |
|    | 国文学              | 鶴教授       |
| 特講 | 平安朝文学史——物語を中心に—— | 今井教授      |
| 演習 | 大鏡               | "         |
| "  | 本朝文粹 十二          | "         |
| 特研 | 平安朝文学の諸問題        | "         |
| 特講 | 洒落本史             | 中野助教授     |
| 演習 | 洒落本              | "         |
| "  | "                | "         |
| "  | 浮世草子             | "         |
| 特研 | 近世文人伝            | "         |
| 演習 | 近現代作品研究          | (教養部)重松教授 |
| "  | 昭和作家論            | "         |
| 特研 | 近代文学史の諸問題        | "         |

講義 近代詩人の研究

(熊本大学) 首藤教授

昭和五十三年度第二学期講義題目（昭和五十三年四月～五十四年三月）

## 国語学

- |    |                  |                |
|----|------------------|----------------|
| 特講 | 国語史と方言研究         | 奥村教授           |
| 演習 | 平曲譜本             | "              |
| "  | 国語学の諸問題          | "              |
| 特研 | 倒紋国語史            | "              |
| 講義 | あゆひ抄             | "              |
| 演習 | 万葉集              | 佐田教授           |
|    | (福岡女子大学)         | 鶴教授            |
| 臨講 | 平安朝文章史           | (京都大学) 渡辺教授    |
|    | 国文学              | 渡辺教授           |
| 特講 | 平安朝文学史——物語を中心に—— | 今井教授           |
| 演習 | 源氏物語 手習巻         | "              |
| "  | 書誌学              | "              |
| 特研 | 平安朝文学の諸問題        | "              |
| 演習 | 近現代作品研究          | (教養部)重松教授      |
| "  | 近代文学の諸問題         | "              |
| 特研 | 近代作家研究の方法        | "              |
| 講義 | 江戸蕉門の俳諧          | (九州工業大学) 石川助教授 |
| 講義 | 近代詩人の研究          | (熊本大学) 首藤教授    |
| 臨講 | 能と狂言             | (東京大学) 小山教授    |

▼進学生歓迎会（昭和五十三年十一月十一日）

進学生十八名（うち女子十二名）を迎え、「あと山」にて歓迎会

が開かれました。

▼春日和男教授退官記念論文集「語文論叢」（桜楓社刊）出版記念講演会

日時 十月二十三日（月）

於 西日本新聞会館十七階国際ホール

講師 筑島 裕 東京大学教授

大野 晋 学習院大学教授

春日和男 九州大学名誉教授

講演会は、立錐の余地もない程の聴衆で埋まり、またその後ホールにて開かれた出版記念祝賀会も盛大にとり行なわれました。

▼奥村三雄先生が七月一日をもって国語学教授に昇格されました。

▼今井源衛先生が七月一日をもって文学部長に就任されました。

▼九大国語国文学会総会並びに研究発表会

昭和五十三年六月四日（日）

研究発表題目

「とりかへばや」における「源氏」摂取

——吉野の宮と宇治の八の宮を中心に—— 辛島 正雄

複合語のアクセントについて

——平安朝末期京都方言を対象とする—— 木部 暢子

大蔵流狂言の待遇表現について

陀羅尼の読誦音について 坂口 弘文

坂口安吾におけるファルスの限界

実録小説と読本 花田 俊典

——春水本「幼婦孝義録」をめぐる—— 白石 良夫

日本紀實宴和歌の歌人たち 工藤 重矩

四季の構図

「敦盛最後」と直実像の虚実

得一撫運三靈考——沙門景戒の背景

▼第二十八回西日本国語国文学会

昭和五十三年九月二十三・二十四日

於 福岡 教育 大学

研究発表（本会会員関係）

朝鮮漢字音の声調体系 九州大学大学院 崎村 弘文

「都氏文集」の諸本について 九州大学大学院 中條 順子

本居宣長の歌合評について——全集未収録

「寛政元年歌合」を紹介して—— 純心女子短期大学 白石 良夫

支子文庫本「拾玉集」について 福岡女子短期大学 西丸 妙子

支子文庫蔵「神祇和歌」について 鹿兒島県立短期大学 福井 迪子

▼卒業論文相談会 昭和五十三年 五月二十日

▼卒業論文構想発表会 昭和五十三年十一月十一日

昭和五十四年度 九州大学国語国文学会総会

日時 昭和五十四年六月三日（日）午前九時三十分より

場所 九州大学 文学部

研究発表御希望の方は題目を明記の上、本会宛、昭和五十四年五月十日迄に御申し込み下さい。

昭和五十四年度 九州大学国語国文学会総会  
日時 昭和五十四年六月三日（日）午前九時三十分より  
場所 九州大学 文学部  
研究発表御希望の方は題目を明記の上、本会宛、昭和五十四年五月十日迄に御申し込み下さい。

新刊書

○春日教授退官記念「語文論叢」

(桜楓社刊、定価六、八〇〇円)

- (1) 春日和男教授の退官に寄す 小島 吉雄  
 (2) 「かなし」の意義 阪倉 篤義  
 (3) 擬古文論 中村 幸彦  
 (4) 訓読前後  
 ——居・坐の一群を中心として—— 小島 憲之  
 (5) 「日本靈異記」とその訓釈のかな 馬淵 和夫  
 (6) 法隆寺本辨正論保安点 築島 裕  
 (7) 十一世紀における片仮名字体の伝承 小林 芳規  
 (8) 推古時代の音仮名と朝鮮漢字音  
 ——ア列音表記の漢字を中心に—— 藤井 茂利  
 (9) 万葉集における正訓文字の訓法 鶴 久  
 (10) 万葉集巻十四の語彙・語法における  
 平安時代の性格について 工藤 博子  
 (11) 篆隸方象名義の部首排列について 福田 益和  
 (12) 滋野貞主考——「経国集」の詩人—— 金原 理  
 (13) 平安朝における終助詞「かし」について 佐田 智明  
 (14) 「に」を介する同一動詞反復形式の表現価値  
 ——その通史的考察の試み—— 山口 康子  
 (15) 九州大学蔵「八字文殊儀軌」について 田尻 英三

(16) 和漢混淆文における文学性について

——「平家物語」と「保元物語」「平治物語」の副詞から——

- (17) 藤原定家の仮名遣 原 栄一  
 (18) 東国抄物の敬語について 迫野 虔徳  
 (19) 天草本平家物語の文章小考 田籠 博  
 (20) 謡曲譜本のある種の施譜法  
 ——日本古典全集「<sup>新訂</sup>謡曲百番」に  
 みる——(二) 柏原 卓  
 (21) 季語「淡雪」粗描 添田 建治郎  
 ——元禄俳諧季語ノート—— 石川 八朗  
 (22) 連体形準体法の実態  
 ——近世後期資料の場合—— 原口 裕  
 (23) 「奉教人の死」論  
 ——虚偽の出典の意味を中心に—— 海老井 英次  
 (24) 「宇治橋」の贈答歌について  
 ——宇治十帖の主題—— 今井 源衛  
 (25) 「しやれ本」名義考 中野 三敏  
 (26) 平曲譜本に反映した自立語のアクセント 奥村 三雄  
 (27) 「東大寺切」に見える音便現象について 春日 和男

九州大学国語国文学研究室へお申しこみの方に限り二割引き